

レピア新聞



株式会社レピア
大阪市中央区釣鐘町2-1-4 ビルハイタウン202

TEL 06-6966-6616 FAX 06-6966-6617
http://www.lepia.co.jp
E-mail: y-kanai@lepia.co.jp

ビタミンE

ビタミンEは細胞内での情報伝達を促進する働きがあるといわれ、そのため細胞の寿命を延ばし、内臓や細胞、生体膜や皮膚などを若々しく保つ働きが期待されています。細胞内での情報伝達がうまくいくと、ホルモン分泌が良くなり、さまざまな組織を正常に動かすことが出来るようになります。そういった作用により血流を良くし、冷え性、生理異常、更年期の諸症状を改善することが期待されています。

便秘などをすると良くわかると思いますが、腸内の環境が悪くなると直ちにお肌のトラブルが発生しますよね。これは、腸内環境が悪くなると元気になる悪玉腸内細菌によるものだそうです。悪玉細菌から出た毒素によって細胞を老化させる物質が細胞内に蓄積され、体表面部分においての肌のくすみにつながるといわれています。
お肌は真皮にある基底細胞で表皮が作られ徐々に押し上げられて角質層を構成していき、やがて角質層は体表から剥がれ落ちていきます。これをターンオーバーといい、これが早くなりすぎたり遅くなりすぎたりすると、お肌にトラブルが発生するといわれています。アトピー性皮膚炎のように極端にターンオーバーが

エラスチン

〈血管機能の維持・向上で注目〉

エラスチンは加齢とともに減少することが報告されており美容素材として利用されてきましたが近年になりヒト経口摂取試験によりさらに機能は美容だけに止まらず、血管機能の維持・向上素材としても注目されてきました。動脈硬化予防で抗メタボリックシンドローム分野への躍進が期待されています。

〈紫外線でエラスチンが崩壊〉

紫外線によってエラスチンそのものが崩壊すると共に、エラスチンを分解するエラスターゼが通常の5倍も過剰に産出されるため、必要以上にエラスチンを崩壊し、消えないシワ(深いシワ)の原因となるので特に紫外線の多い季節はエラスチンを食品としてとることが大切です。



早くなると、角質層の下にある組織がアミノ酸を十分に作る事ができず剥がれやすい角質層となってアレルゲンなどの侵入を許し真皮や表皮に炎症を起こすことも考えられます。

お肌は健康のバロメーターともいわれるように総合力を試される組織です。ビタミンEはこれらの毒素を速やかに細胞外に排泄し、体外に出す働きが確認されており、お肌のターンオーバーの正常化に関係しているといえそうです。全てのお肌のトラブルが悪玉細菌が出した毒素によるものではないでしょうが、トラブルの原因の一つといえると思います。

ナイアシン

皆さん「ナイアシン」という言葉をお聞きになったことはありませんか？

ナイアシンは、ニコチン酸とニコチン酸アミドの総称であり、水に溶ける水溶性ビタミンの一つでビタミンB3ともいいます。体内でもトリプトファンという必須アミノ酸からも合成でき、私たちはこれらをナイアシンとして利用しています。

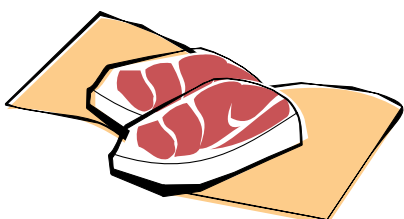
ナイアシンは、糖質、脂質、タンパク質から、細胞でエネルギーを産生する際に働く酵素を補助する不可欠な働きをします。健康な肌を維持したり、血液循環



界面活性剤

界面活性剤というと難しい言葉ですが、簡単には水と油を混ぜ合わせるための物質です。水分と油分はそのままでは混ざりません。身近な例ではマヨネーズですが、マヨネーズは酢と植物油を卵の黄身の中に含まれるレシチン(ヨークレシチン)という物質が仲立ちして、分散させています。通常では水と油は溶け合わないのに、混合しても分離してくるので、界面活性剤(マヨネーズなどの食品では乳化剤と呼ばれています)が水と油

促進のサポートをしてくれます。育毛や増毛、発毛に大切なのは頭皮を正常で健康な状態にすることでないでしょうか。血の流れが良くなると栄養が頭皮にいきやすくなります。毛をつくる栄養素は血からきていますので、ナイアシンを多く含む食品を積極的に摂るようにしたらいかがでしょうか。



ナイアシンはいろいろな食品に含まれていますが、特にレバー、魚、肉などに多いそうです。これらの食品は、タンパク質も豊富なのでトリプトファンも同時に摂取できることになりそうです。

添加剤の種類と目的

〈成形剤〉

賦形剤や結合剤などがあります。賦形剤は錠剤の量を増すためのものですが、結晶セルロースのように結合性、崩壊性などの機能を併せ持っているものもあります。結合剤は、打錠しにくい素材に使用して、成分の結合力を補うものです。

〈コーティング剤〉

味のマスクング、湿気・酸素の遮断、割

の分子との間の中に入って結合させてしまいますので(実際にはミセルという球状の分散体をつくる)、混ぜ合わせた後に分離しなくなります。油汚れを水の中でかき混ぜていても、少しも水には溶け出さないで、洗剤の界面活性剤は、汚れの油成分を洗浄するときの水に溶かしだすために必要な成分で、洗剤の主要成分といえます。

右記にもありますように、界面活性剤は食品から化粧品など、あらゆる身の回りのものに入っていますし、長い人類の歴史の中で古くから利用されている技術です。界面活性剤というと、いろいろな物を含みますが、大きく分けると、石油を原料とした合成の界面活性剤と、右記のレシチンや動植物の油脂からつくられる石けんのような天然の界面活性剤に分けられます。



れ・欠け・粉化の防止、光沢・着色の目的で使用するので、腸溶性・除放性などの機能を付与することのできる素材もあります。

〈滑沢剤〉

圧縮時の杵への付着防止、錠剤表面に光沢をつけるものです。

より美しく、健康に！

キャンペーンのご案内

① 真白美

7+1セール

三月二十一日、

四月二十日

② レピアミルト(洗濯用)

レピア台所用石けん

5%OFF セール

五月一日、

五月三十一日